

平成 27 年 10 月 10 日

バンコク産業情報センター
中 野 秀 紀

一般調査報告書

タイ新政策～特別経済区（S E Z）

9 月 22 日、タイ国のソムキット経済担当副首相は、バンコク都内のコンベンションホールにおいて、日系企業、政府関係者が集まった中で以下の講演を行いました。

この講演の中で取り上げられた、とりわけ日系企業に関係のあるクラスター構想について、現地での情報等を踏まえて以下のとおり紹介します。

1. ソムキット経済担当副首相の講演内容(9 月 22 日：日本企業に宛てた講演)

(1) クラスター形成を目標に掲げるに至る経緯等

タイ国経済の日本との関係を振り返った時、3つの経済フェーズがあった。

- ① 70年代～80年代の時期、タイ国が輸出を伸ばすことを目的とし、莫大な資金が日本からタイに投資された時期。
- ② この10年でのアセアン規模でのF T A達成の取組み。
- ③ 現在は第3フェーズであり、経済構造改革の時期。

将来的には労働力に頼るのではなく、ノウハウや技術に価値を見出す新たな産業構造へシフトしたい。

また、インセンティブ(注：B O I 恩典のことを指すと思われる。)で外国投資を引き付け、輸出に貢献する産業を発展させるという従来のやり方だけでは物足りない。

現在、こういったことを踏まえてクラスターコンセプトを検討している。

クラスターというのは、産業グループを指し、製造業だけでなく、サプライチェーン又はバリューチェーンの全部を指し、サプライヤーやロジスティック、技術、研究、学校等と一緒に産業高度化を成し遂げる総体である。

従来の技術だけではなく、イノベーション、デザイン、技術、Eコマース等の新しいビジネスが必要であり、こういった要素も踏まえてクラスターを形成したい。

ゆえにタイに技術等を移転する日系企業を大切に、タイへの技術移転が成功した企業にはインセンティブを与えたいと考えている。

一方で、従来産業も引き続きサポートしたいと考える。

また、必要に応じて、研究者の永住権付与、外国企業による土地所有を認めるなど、クラスターへの投資をサポートする政策も別に検討している。

(2) クラスタ形成の内容、場所について

分野は、農産加工、自動車、電子、製薬、食品、IT等を想定し、場所は、レムチャバン、マータプットが飽和しており、チョンブリ、ラヨン、パトナムタニ、ペッチャブリ、チャチュンサオ、スリラチャへ拡大したいと考える。

2. クラスタ戦略について

上記講演内容を踏まえ、当センターにおいて、日系企業の立地戦略等に影響のある同クラスタ戦略について、以下のとおり調査しましたので報告します。

(1) 9月22日閣議(先の講演と同日)での決定内容

閣議決定内容 9月22日 (14)

「BOIが提出したクラスタタイプの特別経済開発区政策を承認し、関連する機関にクラスタ開発のための取り組みの検討を指示。

クラスタ形態の特別経済開発区政策の具体的な推進における責任機関は工業省であり、各クラスタの開発調整の中央センターとして機能する。」

(2) 閣議決定を受けた具体的な施策内容について

現在、詳細については、BOI内部で制度設計中ですが、以下のような施策の大枠が同機関から発表されていますので、紹介します。

(各クラスタの投資優遇)

① スーパークラスタ：高度テクノロジーを前提

対象分野	6業種 (自動車、食品加工、環境に優しい化学製品、医薬品、デジタル、電気・電子) ~9県
優遇	・8年間の法人税免税その後の5年間の50%控除

② ノーマルクラスタ：旧来からの重要産業の支援を前提

対象分野	2業種 (農産品、繊維衣料)
優遇	・3~8年の法人税免除とその後の5年間の50%控除等

また、さらなる追加恩典として、2015年から2016年までの申請プロジェクトで、2017年中の操業については、1、2年の法人税免税追加を行う旨の発表も併せてありました。

(2) 国境付近での労働集約型産業の集積に向けた S E Z (出典: B O I 発表資料)

同国は、上記のような先端産業を内陸で集積させるのと同時に、国境県での S E Z (特別経済区) において、近隣国の労働力等を活用し労働集約型産業の集積を行う方針です。

以下のとおり、B O I 発表情報のポイントを紹介します。

国境付近の 10 地域において 13 の産業の集積を目指しています。そのため、それぞれの地域において定められた業種への投資を行うと 3 年間の法人税免除、さらに A1 または A2 カテゴリーの業種(BOI 指定業種)については、最大で 8 年間の法人税免除とその後の 5 年間の同税の 50%減額の恩典等があります。

さらには、税恩典以外には、外国人非熟練労働者の雇用の恩典等があるとされています。

各地域の集積ターゲットとなる産業分野

	Tak (西部)	Sa kaeo (東部)	Trat (東部)	Mukdahan (東北部)	Songkhla (南部)	Nong khai (東北部)	Nakhon Phanom (東北部)	Chiang Rai (北部)	Kanchan -aburi (西部)	Narath -iwat (南部)
農水産関連産業	○	○	○	○	○	ターゲット産業を現在選定中				
窯業製品	○									
織物、衣服、皮革産業	○	○			○					
家具製造	○	○			○					
宝石類	○	○								
医療機器	○	○								
自動車機械部品	○	○								

電子電機 部品	○	○		○		ターゲット産業を現在選定中
プラスチ ック	○	○				
薬	○	○				
物流	○	○	○	○	○	
工業団地	○	○	○	○	○	
観光関連 産業	○	○	○	○	○	

【出典：BOI発表資料】

上記で紹介した制度の詳細情報、追加情報等が必要な場合は、バンコク産業情報センターまでご連絡ください。

必要な情報を提供するとともに、BOIの担当窓口の紹介や、BOIへの同行も適宜実施します。

本資料は、参考資料として情報提供を目的に作成したものです。

バンコク産業情報センターは資料作成にはできる限り正確に記載するよう努力していますが、その正確性を保証するものではありません。

本情報の採否は読者の判断で行ってください。

また、万一不利益を被る事態が生じましても当センター及び愛知県等は責任を負うことができませんのでご了承ください。